

# 相模原市内におけるリンボクの初記録

秋山 幸也\*

\* 相模原市立博物館

## はじめに

リンボク *Layricerasus spinulosa* (Siebold & Zucc.) C.K.Schneid はバラ科バクチノキ属に分類される小高木である。日本固有種で、本州（福島県、福井県以南）、四国、九州、琉球に分布する。県内では現在、湯河原のみに見られる（神奈川県植物誌調査会 2018）。神奈川県レッドリストでは絶滅危惧 I B 類に区別されている（神奈川県 2022）。

近隣地域では、八王子市の八王子城址にも複数の株が存在し（小林健人氏 私信）、相模原市域でも分布の可能性があるのでないかと相模原植物調査会が注視してきた。今回、同会による植物相調査においてリンボクを確認したので報告する。

## 標本記録

採集地 相模原市緑区小倉 小倉山（図 1）

採集日 2025 年 11 月 27 日

採集者 秋山幸也

標本番号 JSCM57601

写真 図 2

## 経過

調査を行った小倉山は、東側の尾根沿いにスダジイ林が点在し、これについて過去に相模原植物調査会の有志で調査を実施した（亀崎ほか 2015）。これに関連し、特異な植生であることから、相模原市文化財審議会委員の宮本太氏（元東京農業大学教授）と現地視察を行い、その際に発見したものである。

リンボクを発見したのは、元相模原市立博物館資料調査員として市域の植物相を調査してきた宮崎卓氏である。同氏が最初に幼木を発見し、周辺を確認したところ、樹高 2.5 メートル程度の若齢木を 2 株発見した。これらの親株となるそれ以上の株の発見には至らなかったが、複数の株が存在し、また、発見した場所は国有林の林道から脇道を少し入った場所であり、一般人の立ち入りはほとんど無いと考えられる。以上のことから、これらの株は自然分布によるものと判断した。

## 謝辞

八王子市のリンボクに関する情報をご提供いただいた八王子市長池公園園長の小林健人氏に感謝申し上げます。



図 1 リンボクの確認地点



図 2 リンボク（幼木）2025.11.27 撮影

**引用文献**

- 亀崎誠・秋本和弘・小林力・永井充・三樹和博・宮崎  
精励・久江信雄・秋山幸也,2015. 小倉山照葉樹林  
植生調査報告. 相模原市立博物館研究報告 (23) :  
67-81
- 神奈川県植物誌調査会, 2018. 神奈川県植物誌 2018  
.1803 pp. 神奈川県植物誌調査会, 小田原
- 神奈川県環境農政局緑政部自然環境保全課・神奈川県  
立生命の星・地球博物館編, 2022. 神奈川県レッド  
データブック 2022 植物編 . 438 pp., 16 pls. 神奈  
川県, 横浜.